

ID・パスワードの取り扱いについて

埼玉県教育委員会

みなさんはID・パスワードの取り扱いに注意していますか？ ID・パスワードは、インターネット上のサービスを利用する際に、本人であることを証明するための大切な情報です。正しく取り扱っていないと、他人に知られてさまざまな被害にあうことがあります。

他人にID・パスワードを知られてしまうケース

◆自分で他人に教えてしまうケース

オンラインゲームなどのサービス上で知り合った相手から、「ポイントやアイテムをわけてあげるから、IDとパスワードを教えて」と言われ、信用して教えてしまったというケースがたびたび発生しています。



◆他人に推測されるケース

覚えやすいようにと簡単なパスワードを設定していると、他人から推測されることがあります。

推測される危険がある簡単なパスワード

- ・名前やあだ名、生年月日など、個人に関するもの
- ・連番や連続の英数字（1111、98765、abcde など）
- ・簡単な英単語（power、soccer、password など）
- ・6文字以下の短いもの

ID・パスワードを他人に知られてしまうと……

アカウントを乗っ取られて、サービス上のポイントやアイテムを盗まれたり、そのアカウントが使えなくなったりします。また、自分になりすまされて、嫌がらせ目的で不適切な投稿をされたり、詐欺などを目的に自分の家族や友だちにメッセージを送られたりすることもあります。



注意

- ・複数のサービスで同じパスワードを使っていると、どれかひとつのサービスでアカウントが乗っ取られた場合、他のサービスでも乗っ取られ、被害が大きくなる場合があります。
- ・他人のID・パスワードを使ってアカウントにログインすることは犯罪です。



ID・パスワードは本人であることを証明するための大切な情報だという意識を持ち、以下のような点に気をつけて、正しく取り扱しましょう。

- ◆インターネット上で知り合った人はもちろん、仲のいい友だちにも、自分のID・パスワードは絶対に教えない
- ◆他人のID・パスワードは絶対に使わない
- ◆サービスごとにちがうパスワードを設定する
- ◆パスワードを作るときは、「個人に関する情報は入れない」「8文字以上の長さにする」「大小の英字と数字、記号（@ - / > など）を組み合わせる」という3つのルールを意識する

※本資料は、埼玉県教育委員会の委託により、ポルトゥウィン株式会社が作成したものです。